

褥瘡局所ケア選択基準(深い褥瘡)

炎症・感染あり

滲出液少量



■ゲーベンクリーム

滲出液中等量



■ユーパスタ軟膏

滲出液多量



■カデックス軟膏

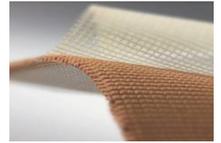
虚血性足潰瘍



■カデックス軟膏

※血流が悪い場合はドライ管理をする

※滲出液の状態により適宜ドレッシング交換をする。



壊死組織

滲出液少量

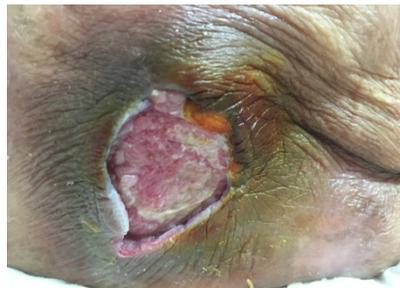


■イントラサイトジェルシステム



←

滲出液多量



■プロメライン軟膏



■カデックス軟膏

皮下組織に至る創傷用のドレッシングになり、重度褥瘡&在宅療養指導管理料の元、院外処方せん可能

ポケット創の処置 & D4(皮下組織を越える損傷)の肉芽形成期



空洞・ポケットのある創
壊死組織があり感染しそうな創
出血している創

■アルゴダームトリオニック



■ハイドロサイトライフ
■ハイドロサイトジェントル銀
■フィブラストスプレー ■プロスタンディン軟膏

皮下組織に至る創傷用のドレッシングになり、重度褥瘡&在宅療養指導管理料の元、院外処方せん可能

褥瘡局所ケア選択基準(D3～浅い褥瘡)

D3(皮下までの損傷～重度褥瘡～)



■**ハイドロサイトジェントル銀・ハイドロサイトライフ等** (ピンク色で分厚いタイプ)



※D3の判断基準は「創縁と創底に段差があり」 段差=D3=重度褥瘡という病名可能



皮下組織に至る創傷用のドレッシングになり、重度褥瘡&在宅療養指導管理料の元、院外処方せん可能

d2(真皮までの損傷—表皮剥離、水疱)



■**ハイドロサイト薄型** (脆弱な皮膚に優しく固定したい場合)

体重が加わる部分や伸展する部分で透明化するので貼付したまま創の状態が観察できる。

※滲出液の状態により適宜交換をする(最長1週間)

※水疱はハイドロサイト薄型かフィルムドレッシングで保護



d1(発赤)または治癒後の保護

発赤

癒痕部



■**オプサイトクイックロール2way**

発赤や骨突出部位の予防、または治癒後の皮膚保護に貼付し、変化がないかを毎日観察する。

汚れた時は適宜交換、最長でも1週間で交換する。

交換が多く、剥離刺激が心配な場合は保湿を徹底する。



■**オプサイトジェントルロール**

脆弱な皮膚で、剥離のリスクが高い方には

シリコン製のロールのフィルムを使用する。

優しく剥がすことが出来き、数回程度、貼りは剥がし可能

■**メロリン**

周囲皮膚が脆弱であれば、

非固着高吸収ガーゼを使用する

